

## ～ 会派の活動を報告します ～

### 政友会

政友会は12月9日に令和4年度予算要望書を針谷市長に提出しました。

- ①若年層へのワクチン接種の更なる推進および第6波（オミクロン株）への備えとして3回目のワクチン接種の迅速な対応
- ②市独自のPCR検査助成および自宅療養者への食糧等の支援継続
- ③安心して働き、子育てができるように適切な子育て支援体制強化（助産師との連携体制強化・隠れ待機児童）
- ④高齢者世帯へのごみ出し支援
- ⑤安心・安全なまちづくり（冠

水時の対策として中央運動公園の新たな進入路確保等）

- ⑥文化センター（アリーナ方式）建設の早期実現
- ⑦ドッグランの設置（候補地は古河公方公園、道の駅まくらがの里こが、古河産業技術専門学院跡地）
- ⑧スポーツ施設の充実（スケートボードパーク）
- ⑨古河市サッカー場の整備（照明設備・控室や更衣室等修繕）
- ⑩未来産業基盤強化プロジェクト実現に向け推進

以上10項目です。新型コロナウイルス感染症に対する市独自の支援制度および第6波に向けた対策は万全を期することを切に要望します。さらに12月17日に

は18歳以下の子どもへの10万円特別定額給付金の現金一括支給を要望しました。政友会ではコロナ対策、少子高齢化、安心・安全なまちづくり、スポーツ施設、あらゆる産業面の発展等を推進し、今後も市民の声に傾聴しつつ積極的に研修会、勉強会を行い、市民生活の向上と住みよいまちづくりを目指し、活動してまいります。



会派要望書提出

### 古河市公明党

古河市公明党は昨年8月30日、長引くコロナ禍における「コロナ感染拡大防止に関する緊急要望書（4回目）」を、針谷市長へ提出しました。公明会派からは、円滑なワクチン接種に向けて、接種スケジュールや運用上の体制強化、副反応に不安を抱える市民への丁寧な情報発信などを訴えました。



4回目の緊急要望書を提出する古河市公明党

また、11月18日には「令和4年度予算要望書」を針谷市長へ提出しました。今回の要望書では、総務関連施策として、①「ユニバーサルマナー検定」の導入。②公共施設のバリアフリー化の推進。③各種料金の支払いに「ペイジー決済」の導入など17件。文教厚生関連施策として、①未就学児の交通事故防止のための「キッズゾーン」の整備。②「障がい児用よだれかけ」の購入費用に助成制度導入など21件。産業建設関連施策として、①災害時の情報伝達手段「クレバーメディアシステム」の導入など11件。合計49項目の政策要望書を提出しました。

この要望書は「安心して暮らせる温かな街づくり」を目指すために、そして「市民生活のさらなる向上」を目指し、日常の議員活動の中で市民の皆さまから頂いたご意見やご要望を、形にすることを目的としています。

古河市公明党は今後も、住み良い街づくりのために、全力で取り組んでまいります。



予算要望書を提出する古河市公明党